

【表8：職業コース 2年「社会」の年間指導計画 例②】

12.	9.	修学旅行の事前学習。 (調べ学習)	◆関東地方の気候や歴史、文化、特色に関心をもつ。 ◆修学旅行で訪問するスポットや地名の由来など調べる。	◆東京23区などの地名に慣れさせる。 ◆修学旅行の日程に沿って、訪れるスポットについて調べる。	P98～P101.	①. ②. ③.
16.	10.	修学旅行での調べ学習。 修学旅行の事後学習。	◆調べた内容を現地と比較したり、確かめたりする。 ◆現地で学習したことを振り返り、まとめる。	◆地図帳、書籍、インターネットの活用等で具体的なイメージをもちやすくする。	P98～P101.	②.
19.	10.	日本の世界遺産。	○日本の世界遺産。 ◆日本の世界遺産について学習する。	◆日本国内の自然遺産・文化遺産を確認させて、歴史への興味を持たせる。	巻頭のカラー資料。	①.
20.	11.	日本の歴史。	○日本の歴史。 ◆日本の歴史の流れや各時代の特色、主な出来事、歴史上の人物について学習する。	◆「くらしに役立つ社会」(教科書)を活用し、年表を用いて視覚的に時代の流れを確認する。	巻頭のカラー年表。 P75～P78.	①.
22.	12.	日本の歴史。	○日本の歴史。 ◆歴史上の人物について、書籍やインターネットなどを用いて調べ、調べた成果をまとめ、それぞれ発表する。	◆調べ学習の対象とする歴史上の人物をグループ・個人決めて、図書やインターネットを使って調べ学習を行い、調べた内容をそれぞれでまとめ、発表する。	P75～P78. 書籍など。	②. ③.
25.	12.	日本の歴史。 ・小テスト。	○日本の歴史についての復習。 ◆2学期に学んだ歴史の内容を、小テストで確認する。	◆学習した内容を教科書・プリントで確認させながら、小テストに取り組ませる。	巻頭のカラー年表。 P75～P78.	②. ③.
26.	1.	選挙。	○民主主義と選挙(国民としてのかわり)。 ◆選挙について学習し、主権者意識をもつ。	◆選挙までの流れ、投票所での投票の仕方などに見通しをもつようにする。	P19.	①.
28.	1.	世界の国と地域。	○世界の国と地域。 ◆日本と比較し、とりながら、世界の国や地域への関心をもつ。	◆主な国名・都市名が書き込める白地図を用いアジアなど地域で色分けさせる。	巻頭のカラー地図。	①.
29.	2.	世界の中の日本。 ・歴史のなかのかわり。 ・国際社会のしくみ、きまり。 ・物の交流、外国との交流。	○世界の国と地域。 ◆世界の国々との、主な歴史的なかわりについて学習する。 ◆国際連合などのしくみや、条約などのきまりについて学習する。 ◆日本の輸入や輸出、外国との交流について学習する。	◆主な国々とのかわりを大まかに学習し、かわりの中で、日本の産業や文化などに与えた影響を知る。 ◆インバウンドなどキーワードも学習する。	P110～P112. P112～P113. P113～P115.	①.
32.	3.	時事問題。	○国際平和や国際協力が必要なことを考える。 ◆世界の出来事に関心をもち、自分の考えをまとめる。	◆新聞、TV番組等で時事ニュースに触れる習慣をつける。	P6～P7.	①.
33.			※ Z月までに授業力(小)が合った場合はこの単元を省く。			

※授業計画のページ のグループ の個別。

【表10：職業コース 2年「情報」の年間指導計画 例】

高等部 年間指導計画		2 学年	Ⅲ 課程	教科名・領域名（情報）		年間総時数	35	
<p>身近にある情報機器の操作の習得を図りながら、情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画する力を養う。</p>								
学期	月	単元(題材)	単元(題材)目標	時数	学習活動内容 指導の手立て	授業 形態	含まれる 教科名	学習指導要 領位置付け
1	4	オリエンテーション 情報機器の基本操作	・パソコンやタブレットなど、身近な情報機器の基本操作を知る。	1	〔知識・理解〕 ・実態に合わせて入力方法（ローマ字入力、ひらがな入力）を選択し、好きな曲の歌詞やアニメの台詞等を入力し、習熟を図る。	①	自立活動 社会 職業	特別支援 学校高等 部学習指導 要領第2章 〔情報〕
	5	Word、PowerPoint 等	・個人情報の重要性を知り、相手の気持ちや考えを尊重して、コミュニケーションを図ることが出来る。	1	・正しい情報機器の取り扱いはいつい て知る。	②	職業	
	6	※コロナ感染症による 身体接触あり		1				
	7	情報モラルについて ①		1				
	9	様々なソフトの活用 Excel、PowerPoint 等	・文書作成、表計算、プレゼン等のソフトの基礎的な使い方を知る。	1	〔思考力・判断力・表現力〕 ・コピー、ペースト、フォント交換等具体的な操作方法を指導する。			
	10		・Web の有効な側面と危険性について理解することが出来る。	1				
	11	情報モラルについて ②		1				
2	12			1				
	1	インターネットの活用	・ネットワークを活用して、テーマに沿った調べ学習を行い、テーマに沿ったプレゼンテーションを作成する。	1	〔学びに向かう力〕 ・制作を通じて、Word や Excel、PowerPoint 等の利便性について理解させる。 ・絵や写真の挿入、図の構成と配色などの具体的な方法を指導し、活用できるようにする。			
	2			1				
3	3			1				

○ 性教育・道徳学習・集会活動・人権学習については、別途計画する。

※授業形態 ①一斉 ②グループ ③個別、□

【表 1.1：職業コース 2 年「道德」の年間指導計画 例】

高等部 年間指導計画		(2) 学年	(Ⅲ) 課程	教科名・領域名 (道徳)	年間指導時数	3 5		
<p>指導目標 (つげたい力)</p> <p>○ 自他の生命を尊重する心を育てるとともに、他者とかかわり、地域社会の一員としてふさわしい行動を考え、実践しようとする気持ちや態度を養う。</p>								
学期	月	単元 (題材)	単元 (題材) 目標	時数	学習活動内容 指導の手立て	授業形態	含まれる 教科名	学習指導要領 位置付け
1	4	「新しい仲間とともに さあ新学期」	○ 自分の生活を見直し、温かい生活習慣に改変しようとする意欲を高める。 ○ 互いに理解し、学び合うことで次を準備、男女が仲良く協力し助け合う。	1	○ 新年度を前に、自分の生活態度や習慣を振り返る。他者の生活を知るとともに、改変や課題、目標に気づかせる。 ○ 他者の良さやがんばっていることを出し合い、紹介する。認め合うことの大切さを知らせ、次を準備する機会とする。			1 - (1) 温かい生活習慣、 態度・姿勢 2 - (4) 男女の理解・尊重
	5	「自己を知り、 仲間を知る」	○ 胸と情に合った適切な言動を社会的に学習し、礼儀について態度を高める。	2 3	○ 本校生活や実習先での言動やマナーの違いを学び、考え方を深める。実習先にはお礼状等で、感謝の気持ちを伝える。			2 - (1) 礼儀 (2) 感謝の心
	6	「現場実習を通して」	○ 温かい生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直し、また家庭及び社会の一員としての役割を学ぶ。	4	○ 生活習慣の乱れが及ぼす影響について知るとともに、自分の生活について振り返る。夏休み中の家事役割を自分で決める。			1 - (1) 温かい生活習慣、 態度・姿勢 4 - (6) 家庭実
	7	「夏休みを君覚悟に ～新年度のある生活～」	○ 所属する集団における役割と責任を自覚し、より良い半原の在り方を考える。	5	○ 半原の委員会や部活動等を振り返り、自分の役割や仕事内容を整理する。半原の雰囲気や働くことの大切さを考える。			4 - (4) 役割と責任の自覚
	8 9	「2 学期のはじまり」 「みんなの願い半原校」	○ 生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を大切にすることを覚える。	3	○ 命に關する意味をもとに、かけがいのない命であることを気づかせる。自他の命を大切にすることを覚える。		一斉	日常生活の 指導
2	10	「かけがえのない命」	○ 生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を大切にすることを覚える。	3	○ 命に關する意味をもとに、かけがいのない命であることを気づかせる。自他の命を大切にすることを覚える。			3 - (1) 生命尊重
	11	「自分らしく生きる」	○ それぞれが持つ社会生活における困難を「困っていること」に向き合い、自己の向上を図るとともに周囲に対する思いやりをもつ。	4	○ それぞれの個性や特性についての理解を深めるとともに、自己の困りにも向き合い、よりよく生きることについて考える。			1 - (2) 内山心・個性の尊重 2 - (2) 思いやり
3	12	「社会の一員として～ 選挙・投票の大切さ～」	○ 法や決まりの意義を理解し、選挙することの必要性を知る。	3	○ 選挙権についての学習や、投票体験 (人権学習) と関連性を持たせ、社会の一員としてその意義を理解する。			4 - (1) 法や決まり・権利と義務
	1	「私の夢・私の目標」	○ 夢のはじめに目標を立てることで、奮力する心構えや夢を実現させようとする心構えをもつ。	4	○ 新しい年を迎え、気持ちも新たに「目標」を立てる。その目標と「夢」の実現のために奮力しようとする心構えを高めさせる。			1 - (2) 希望・夢・思いやり
	2 3	「終年旅行を通して」	○ 集団活動に参入して参加し、自分の役割を自覚する。また、協力して主体的に役割を果たす。	5	○ 半原とは異なる集団での役割や、団体作業を通して主体的に活動し協力する態度を身に付ける。			2 - (1) 終年旅行 4 - (4) 役割と責任の自覚

(4) その他 本校高等部の学習の特色

- 職業的自立や自立的生活を旨し、その他、以下のような取り組みがる。

教科・領域等	学習内容
全般	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年時は、1学年職員で、「職業コース」の適正の見極めを行う。 ○ 2年生から3年生への進級時にも、課程移行の機会を設ける。 ○ 令和3年度より『積極的スロースタート』制度を設定する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 軽度知的障がいの生徒も、1年生の学習を基礎からじっくりスタートさせる。 ○ 2学期に、「キャリア教育に関する実態評価表」を用いて、全ての生徒を評価する。客観的評価として選考資料の1つとしている。 (下表12参照)
家庭科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「スーツ」の着こなし方の学習 ○ 「ナチュラルメイク」の学習
作業学習	<ul style="list-style-type: none"> ○ 予定：「GMO ドリームウェーブ」との連携によるリモート実習 ○ 環境整備の実践学習（明星視覚支援学校の定期的環境整備） ○ 環境整備の実践学習（予定：日向住吉駅の定期的清掃） <ul style="list-style-type: none"> ※ 学校以外の場所の清掃を行うことで、実践的態度を育てる。 ○ 就労先のニーズに合わせて、「福祉・流通班」からの出向学習 (特に3年生。農業班や工業班へ。)
総合的な探究の時間等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年次からの実際的な進路学習（先輩の就労先調べや事業所見学） ○ 「ハローワーク」の見学（2年）や求職登録（3年） ○ 産業技術専門校高鍋校 オープンスクール参加 ○ 県議会議員講座「こんにちは県議会です」の受講（2・3年）

(5) 「作業学習」に関して

- 「職業コース（Ⅲ課程）」の生徒は、「福祉・流通サービス班」で学ぶ。
流通・サービス、メンテナンス、OA、福祉に関する基本的な学習に取り組み、「働く力」を高める。

I 課程	II 課程	III 課程 <u>職業コース</u>
「オープン班」 「家政班」	「環境整備班」 「工業班」 「農業班」	「福祉・流通班」

〈 参考：作業学習班改変（R元～R3年度研究） 〉

～R1	メンテナンス	福祉・サービス	農業	手工芸	木工	窯業	受注	手織り班	オープン
R2～	福祉・流通班		農業班	工業班		家政班		オープン	

※ 2年度より「環境整備班」をあらたに新設し、9班から6班への再編となった。

※ 2年度、新しい編成で試行を実施、評価改善を行った。

(6) これまでの主な就労先に関して

卒業年度 卒業生数	令和元年 (48)	平成30年 (40)	平成29年 (42)	平成28年 (54)	平成27年 (40)
就職者数 【Ⅲ】	13 【7】	17 【9】	10 【5】	16 【8】	11 【8】
進学者数 【Ⅲ】	7 【2】	1 【1】	4 【0】	5 【1】	0
業種	看護補助(7) IT特例 子会社(2) 選果場(1) リネン(1) 就労A(2)	看護補助(3) スーパー(2) 食品工場(2) 舗装工事(1) ファストフード(1) 縫製工場(1) 就労A(7)	製造工場(1) 縫製工場(1) 部品倉庫(1) 選果場(1) スーパー(1) 就労A(5)	看護補助(1) 病院清掃(2) 厨房等(1) 製造工場(3) ホームセンター(1) 特例子会社(2) 就労A(6)	看護補助(1) スーパー(2) 縫製工場(2) 製造工場(1) 産廃工場(1) 就労A(4)
具体的な 就労先	宮崎市郡医師会 慈英病院 宮崎江南病院 潤和会記念病院 芳生会平和ヶ丘館 GMOドリームエブ JA西都選果場 南国リネン	市民の森病院 善仁会病院 獅子目整形外科 フーデリー 日本食材加工 サイトーファーム (株)F・C舗装部 スターボックス 日本剣道具製作所	永友食品 勝田被服 いすゞ宮崎 JA田野選果場 フーデリー	宮崎市郡医師会 長寿園 野尻中央病院 小丸新茶屋 エーケーエム キャノン 宮崎工場 ホンダロック ナフコ高鍋店 ANA青島ファクトリー	宮崎市郡医師会 フーデリー ダイルックス西都店 勝田被服 キャノン宮崎工場 宮崎サンエフ
就労A型	CoCoRo フレンズ南宮崎	CoCoRo ウイズハートぎんが セサミみやざき フレンズ グリーンハート 宮崎	CoCoRo ハッピーもも おがわや サンプラス	CoCoRo ハッピーもも グリーンハート 宮崎 茶臼原 自然芸術館	きょうげ弁当 エコまる ピアはあ〜と セサミみやざき
進学先	県産校高鍋校 販売実務科 宮医管専こども科 宮崎東高校 定時制	県産校高鍋校 販売実務科	県産校高鍋校 販売実務科	県産校高鍋校 販売実務科 宮医管専保育科	

- 特色**
- 昨今、療育手帳 B1 所持者でも障害者年金を取得できないことがある。
II 課程在籍の生徒も、積極的に、障害者雇用枠での就労を目指す。
また、I 課程を含む全ての高等部の生徒が、「働いて幸せになる」ことを
職員の目標としていく。
 - 今後、医療福祉現場等の補助的業務、IT 企業等 比較的規模の大きな企業の
事務補助的な業務、まだまだ求人は少ないが農業法人や環境整備的業務に
障がい者雇用の需要があると見込まれる。

(7) 『職業コース』生徒選考の流れ (1・2年生)

	具体的な流れ
入学前	<ul style="list-style-type: none"> ○ オープンスクール・教育相談の際に、「職業コース」に関して説明。 ○ 「職業コース」で学んでみたいかの意思確認。
9月	○ 『 <u>キャリア教育に関する実態評価表</u> 』を用いて、全生徒を評価。(～12月)
10月	○ 『作業学習見学』
11月	○ 『 <u>教育課程説明会 (生徒)</u> 』 …学年主任が授業の中で行う。
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習内容の違い、目標の違い 等 ○ 『<u>教育課程説明会 (保護者)</u>』 …学部主事が終業式に行う。 ・ 生徒に説明したのと同じ内容を説明する。 ・ 冬季休業中に、「職業コース」の希望に関して、話し合ってもらう。 ○ 学年会・学部会で、『<u>大切にしたいこと・身につけさせたい力</u>』を用いて「職業コース」の生徒を選考する。
1月	○ 『 <u>個別面談 (後期)</u> 』
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要に応じて、『<u>キャリア教育に関する実態評価表</u>』や『<u>大切にしたいこと・身につけさせたい力</u>』を用いて説明。 ・ 保護者・本人の希望を確認する。 ・ 担任・学年・学部としての意見も提案する。 ・ <u>希望通りの教育課程にはならないこと</u>、を必ず伝える。
3月	○ 次年度の教育課程 決定。

特色

・『キャリア教育に関する実態評価表』…本校独自の児童生徒評価表

・『大切にしたいこと・身につけさせたい力』

…本校独自の児童生徒の到達目標一覧表